

心ときめく
アイテムを
探して

地元で 雑貨 ブランド



ホンダアヤさん

三原市出身のグラフィックデザイナー&イラストレーター。紙媒体を中心としたグラフィックデザインから、ライフスタイル雑貨のデザイン、ロゴやホームページのデザインまで幅広く活動する。ミハラッセのお気に入りスポットは、「三原港」(三原)と「Flowervillage 花夢の里」(世羅)

「手描きでしか出ない味を大切にしたい」と、線は鉛筆で描き、色付けはパソコンで行っている

アンティーク、アメリカン、ハンドメイド……
三原&世羅には個性豊かな雑貨やお店がいっぱい。
春風が心地よい季節、“お気に入り”を探しに出かけよう。
注目の雑貨デザイナーさんにもインタビュー!

※誌面で紹介した商品は、タイミングにより売り切れている場合があります

海の近くで暮らしたい
東京から三原へUターン

最近、三原市のあちこちで目にするようになった雑貨ブランド「みはらモノトコ」。三原の名物や名所を描いたイラストがカラフルでかわいらしく、見ていただけで心が弾む。

三原市出身のホンダアヤさんは、幼い頃から絵を描くのが好きで、漫画家やゲームキャラクターデザイナーに憧れていたそう。高校3年の時に文化祭のポスターを作ったことがきっかけで、グラフィックデザインに興味を持ち、大阪のデザインの専門学校へ進学。卒業後は東京のデザイン会社に就職し、販促ツールやチラシなど紙媒体のデザインの仕事に携わる。24歳の時に「自分のやりたいことと違う」と矛盾を感じて退職すると、東京でフリーランスのデザイナーとして活動。イラストが

描けるということで、1000円

ショップの雑貨や企業のノベルティグッズのデザインなど、仕事の幅を広げていった。

「周りに支えられ仕事は順調でしたが、30歳を過ぎた頃、人の多い東京で暮らすのがしんどくなってきたんです。自宅での仕事がほとんどなので、東京じゃなくてもいいかもと思い、移住先を探すことに。穏やかな海の近くで暮らしたいという気持ちもあったかな」と笑う。2年ほどかけて移住先を探し、行き着いたのは、生まれ育った三原だった。

「みはらモノトコ」ポストカード
1枚165円。全15柄を展開



新作の三原だるまエコバッグ1650円。ゴムバンドでまとめてコンパクトに持ち運べる!



「みはらモノトコ」の商品の一部。みはらのてぬぐい各1320円、木製プレート各880円など



三原発の雑貨ブランドを 自らプロデュース

ホンダさんが16年ぶりに帰郷して思ったのが「三原にはかわいなお土産がない」ということ。「ないなら自分が作ろう」と東京での経験を生かし、すぐに商品作りに取りかかる。モチーフには、瀬戸内海の多島美、久井の岩海、三原だるま、さぎしまみかん、三原やっさ祭りなど、三原の名所・名物・祭りを選んだ。「デザインを見て、三原のことを知ってもらおうと思って。意識しているのは、温かみと色使い。手に取った人が明るい気分になるようカラフルにしています」と話す。ブランド名を三原の名物(モノ)と名所(トコ)から「みはらモノトコ」とし、令和2年11月に商品が完成。現在、15柄のイラストから展開したポストカード、マスキングテープ、ブロー

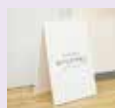
チなどの雑貨を販売している。

「今後はイラストの柄をもっと増やしたいし、ご当地がチャーム作りしたい。移動式の雑貨屋さんもやってみたいですね」と目を輝かせる。ホンダさんと「みはらモノトコ」から目が離せない!



「三原市芸術文化センターポゴロ」や「八天堂ビレッジ空の駅オーチャード」の商品もデザイン

みはらモノトコ



三原の名物(モノ)や名所(トコ)をモチーフに作られた雑貨ブランド。商品は、オンラインショップと下記4店舗で販売



取扱
店舗

- ・道の駅みはら神明の里
- ・三原須波ハイツ簡易郵便局
- ・八天堂ビレッジ
- ・空の駅オーチャード(ココラサン)
- ・KIRO 広島 1F SHOWCASE